

■ 事後評価（社会資本総合整備計画）

高松市の管理港湾における地震・津波対策（防災・安全）

計画の名称	2 高松市の管理港湾における地震・津波対策（防災・安全）		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）	交付対象	高松市
計画の目標	・近い将来、発生が予想される大規模地震等により発生した津波や異常気象による高潮から、市民及び背後地を守るため、管理港湾において海岸保全施設を整備する。また、管理港湾の施設の耐久年数を向上させるため、海岸保全施設の長寿命化計画を策定する。		

1. 事業効果の発現状況 : 十分な効果があった

- ・海岸保全施設の整備により、津波や高潮からの浸水被害が解消した。
- ・海岸保全施設の長寿命化計画の策定により、計画的かつ効率的な維持管理を行なえるようになった。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・管理港湾の背後地において津波や高潮からの浸水面積を低減させる。
- ・施設の耐久年数を向上させるため、長寿命化計画を策定する。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値			達成率	備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値		
	(H28当初)	(H30末)	(R2末)		
・背後地の浸水被害の面積	目標値： 1,070 a	1,070 a	0 a	100.0%	
	達成値： 1,070 a	1,070 a	0 a		
・長寿命化計画の策定率 実施策定港数÷総策定港数×100＝策定率	目標値： 0 %	0 %	100 %	100.0%	
	達成値： 0 %	0 %	100 %		
	目標値： 達成値：				

全体事業費	合計 (A+B+C)	260百万円	A	260百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%	進捗率 (事業費ベース)	98%
実施事業費	合計 (A+B+C)	254百万円	A	254百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%		

交付対象事業																	
A 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	実施事業費(百万円)	進捗率	備考
									H28	H29	H30	R元	R2				
A09-001	海岸	一般	高松市	直接	高松市	庵治港津波対策事業	胸壁等：726m	庵治港・庵治地区						235	235	100%	
A09-002	海岸	離島	高松市	直接	高松市	女木港外2港海岸堤防等老朽化対策緊急事業	長寿命化計画の策定	女木港東ノ口地区外2地区						17	12	71%	
A09-003	海岸	一般	高松市	直接	高松市	庵治港外2港海岸堤防等老朽化対策事業	長寿命化計画の策定	庵治港新開地区外2地区						8	7	88%	
合計											260	254	3				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	実施事業費(百万円)	進捗率	備考
									H28	H29	H30	R元	R2				
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	実施事業費(百万円)	進捗率	備考
									H28	H29	H30	R元	R2				
その他関連する事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	実施事業費(百万円)	進捗率	備考
									H28	H29	H30	R元	R2				

要素事業の事業進捗
計画通り進捗

2. 今後の方針
完了

事後評価書参考資料

■ 事後評価（社会資本総合整備計画）

高松市の管理港湾における地震・津波対策（防災・安全）

高松市役所 河港課

位置図、事業概要

L1津波高(堤防必要高※ ¹)	TP+2. 2m	現行天端高	TP+2. 1~2. 3m
L2津波高※ ²	TP+2. 7m	計画天端高	TP+ 3. 2~3. 6m
高潮高(堤防必要高※ ²)	TP+2. 46m		
耐震化の考え方:L1津波先行地震による沈下(約0. 3m)発生後もL1津波高を確保			

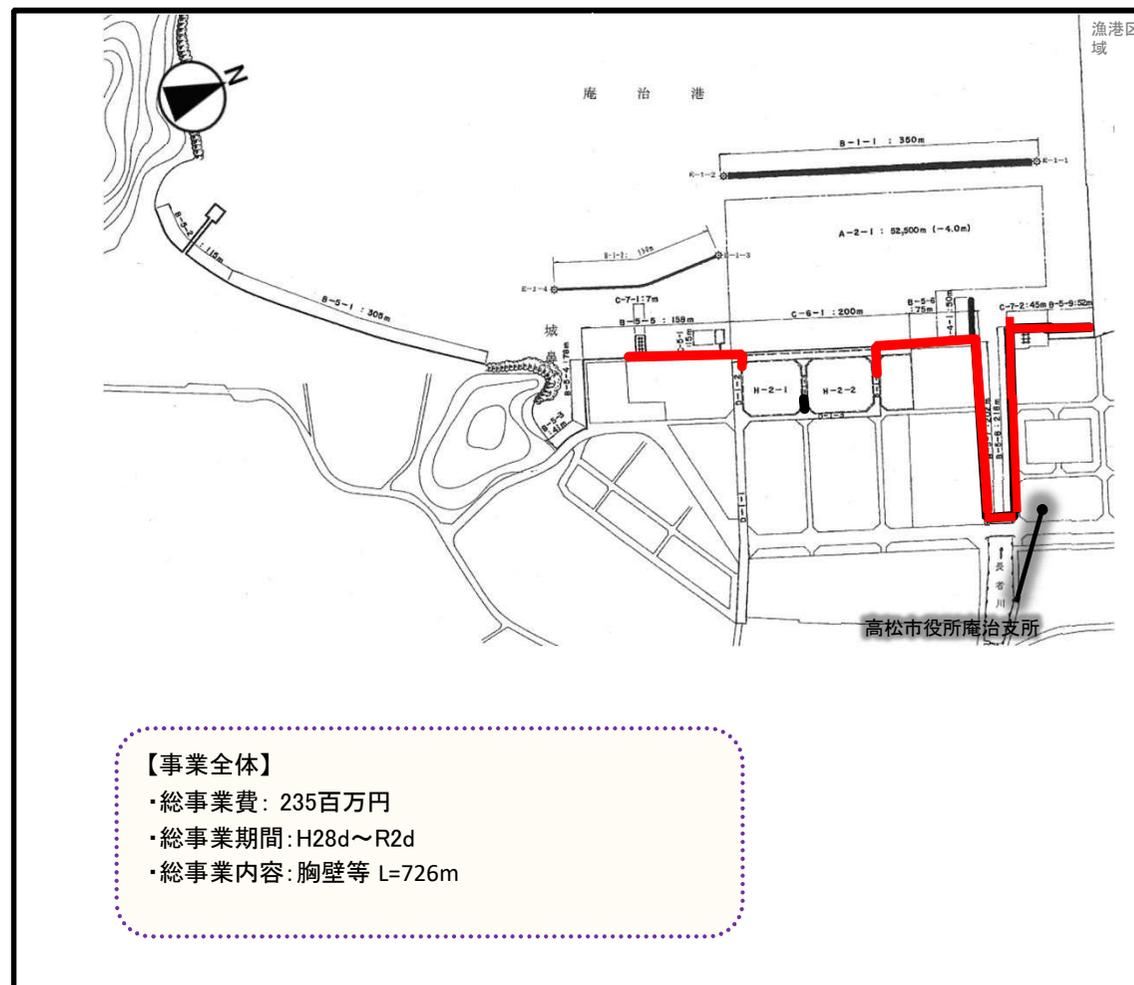
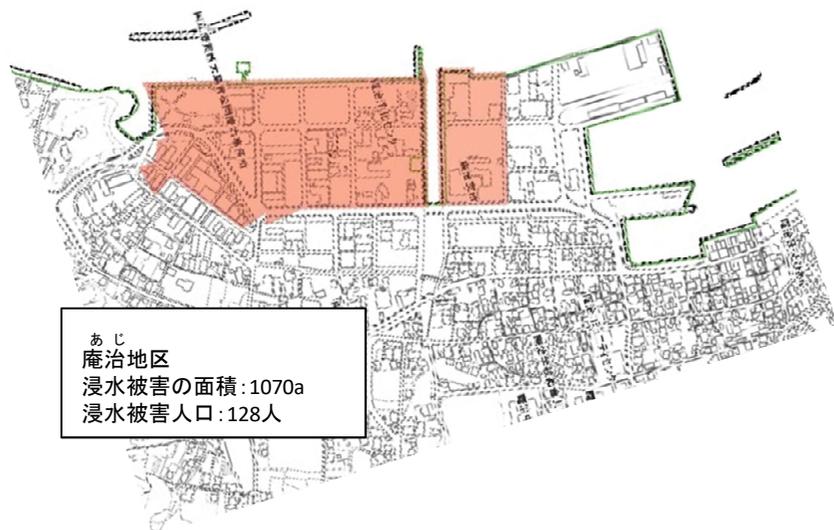
※1:せり上がりを考慮
 ※2:せり上がりは未考慮

整備目的:南海トラフ等で発生する地震に伴う津波による被害から、背後地にある民家や支所等を防護するために、天端高さが不足している**胸壁**の嵩上げ及び耐震化を実施する。

【位置図】

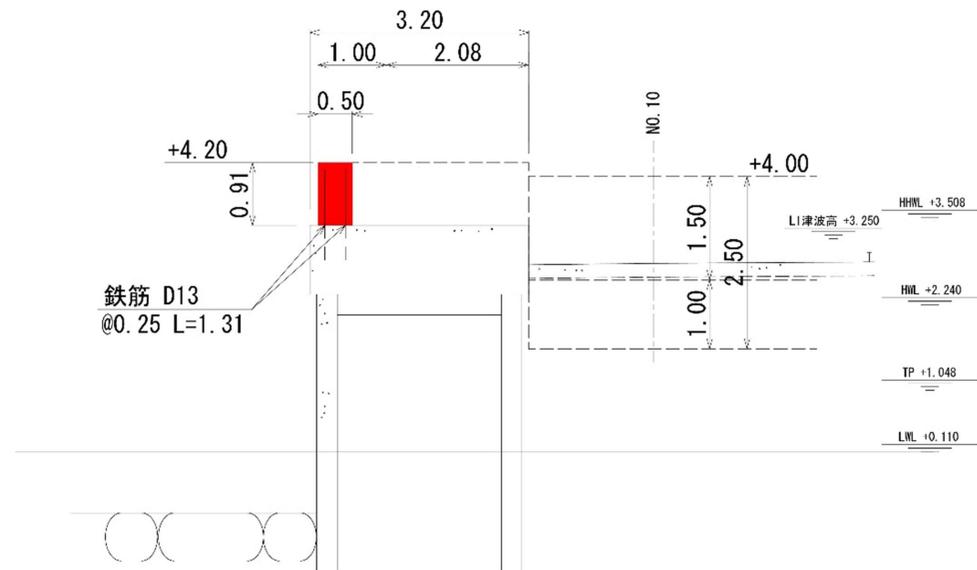
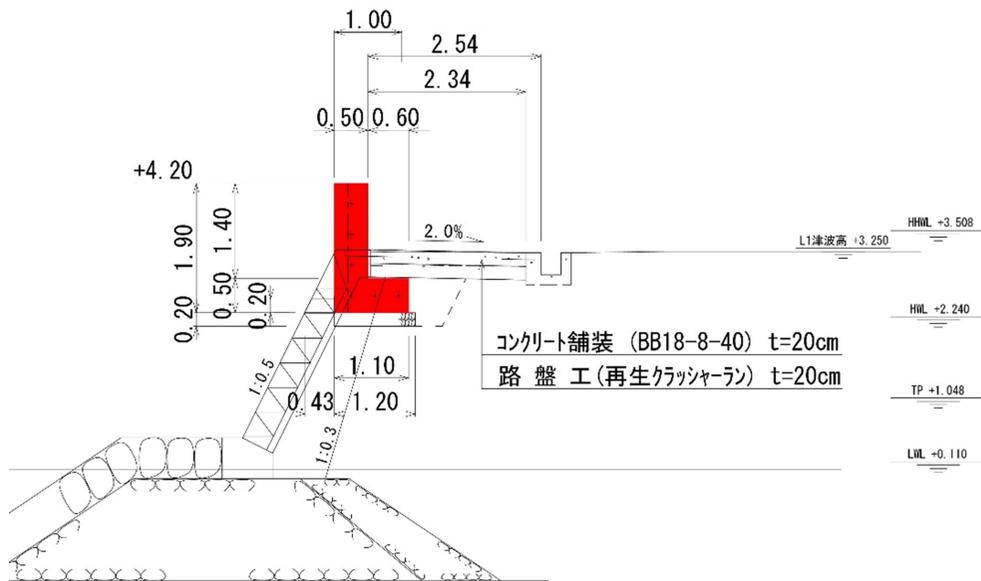


【浸水地区】



事業概要

庵治港海岸 胸壁標準断面図



事業概要(整備状況写真)

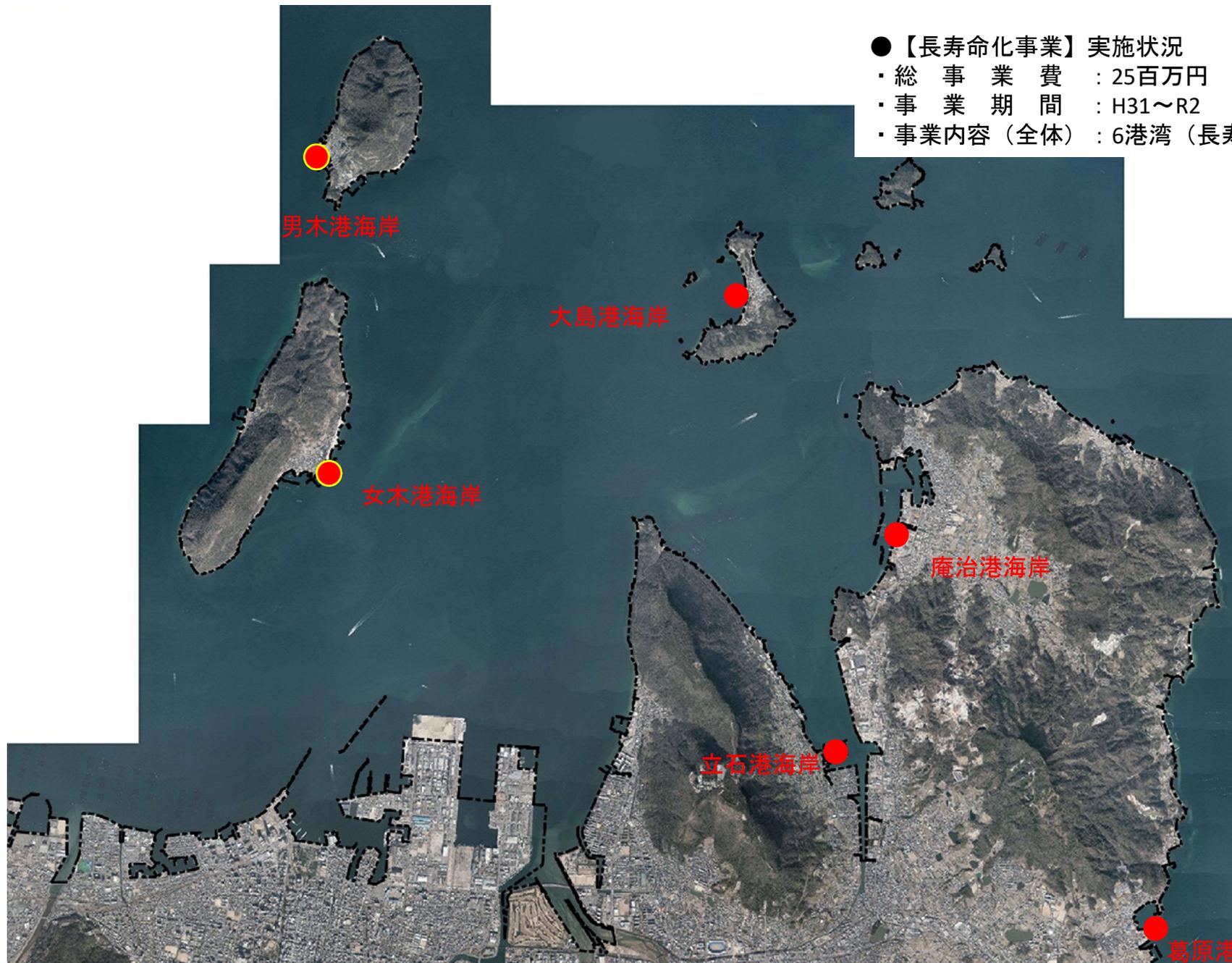
①陸こう整備状況



②胸壁整備状況



位置図、事業概要



- 【長寿命化事業】実施状況
- ・総事業費：25百万円
- ・事業期間：H31～R2
- ・事業内容（全体）：6港湾（長寿命化計画策定）